



第21番・太龍寺、捨身ヶ獄「お大師さん」



発行所  
〒775-0101  
徳島県海部郡海陽町浅川  
鯖大師本坊同行二人会  
電話 (0884)73-0743番  
FAX (0884)73-3405  
編集人 柳本明善  
印刷所 (株)教育出版  
センター

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の  
携帯サイトです。



暑中お見舞い申し上げます

益者の砌

皆様のご健康を

心よりお祈り致します

合掌

平成二十七年盛夏

鯖大師本坊 柳本明善

心へ道め言葉  
念ひ深くして花ひらく  
三念庵 松田カ

# 温故知新

## 歴史を調べ発想する

「子曰はく、故きを温ねて新しきを知らば、以て師たるべし」

以て師たるべし

故きを温ねて新し

きを知る。または、

故きを温めて新しき

を知る。とも解釈さ

れます。

過去の事柄や学説

などをじっくりと学

び、そこから現実の

新しい事態や、その

対処法を発見できる

ようになれば、人を

指導する立場に立つ

資格がある。孔子、論語の言葉です。

森羅万象、全てに過去があり歴史があり

ます。勿論、私達に於いてもしかりであり

ます。

過去の積み重ねが今であり、現実であり

ます。

私達は人類が始まって以来、血、命が繋

がり今に生きてます。途方もない歴史、長

# 知温故新

い時間ですが、その道のりを遡り、昔々へと訪ねる。そこに時代を越えて受け継がれてきた大切な物を発見、置き忘れてきた事実を知る。  
そこまで行かなくても、身近な祖父、祖母、父、母より命を受け継いでいる事や、その時代の歴史を調べる。  
その歴史を聞き学び調べて今の事柄を理解それから先の事に想いを馳せる。

この事に由って新しい生命力、元気が湧いてくるでしょう。

もう一つの家族、ご先祖さまが帰って来る。亡き父母が帰って来る。ご先祖さまの里帰りの日、「お盆」心、新たにお迎えしましょう。

合掌

ご先祖さま

大切にすること

自らの人生や

子孫の繁栄に

繋がることを

忘れてはならない

弘法大師



鯖大師ホームページ

URL  
<http://www.sabadaishihonbou.jp>  
\*ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

四国霊場開創一二〇〇年記念



歩くお遍路 満足行巡拝

第十二回、パート(6)

平成二十七年二月二十日より  
平成二十七年二月二十五日

第十二回、満足行の最終回、昨年、歩き残した第八十三番・一宮寺の手前、JR鬼無駅より歩く。

四国で一番、飯田の接待所

鬼無駅よりの途中、トイレからお茶の用意までしてくれている飯田の接待所がある。誠にありがたい。一宮寺より第八十四番・屋島寺まで十四km、高松市街よりテーブル状の屋島を目指す。天平の僧・鑑真の開山、源平の古戦場で名高い。



飯田の接待所



第83番・一宮寺

屋島寺より八栗寺には義経の檀ノ浦下り

第八十五番・八栗寺は屋島の対岸、五剣山の麓、屋島より急坂を牟礼に下り、洲崎寺の真念上人のお墓



真念上人のお墓

人の墓を参拝、真念上人は江戸時代に四国遍路を広めた人である。八栗寺は五剣山を背景に本堂・大師堂と並ぶ、第八十六番志度寺には長い下り、爪先が痛い。志度寺は非常に歴史の古い寺、境内には五重の塔がそびえる。志度寺より第八十七番・長尾寺には長尾街道を歩く。

楠の大木が歴史を物語る長尾寺

長尾寺は天台宗の寺、掃除の行き届いた境内に本堂・大師堂が整然と並んでいる。八十八ヶ所結願所、第八十八番・大窪寺には前山ダムより標高七五〇mの女体山越えをする。かなりのアップダウンであるが結願の寺に相応しいコースである。



長尾寺の大楠



女体山への道

残雪と雲海の大瀧寺

大窪寺を参拝して別格二十番・大瀧寺に向かう、標高九一〇m、境内に残雪の残る大瀧寺を参拝、境内よりの雲海が美しい。鯖大師本坊に宿泊し、和歌山港まで船で渡

る。岩出市より紀の川沿いに歩き九度山町、慈尊院に着く。

二〇〇四年に高野山と高野山に登る町石道が、共に世界遺産となる。

世界遺産、町石道

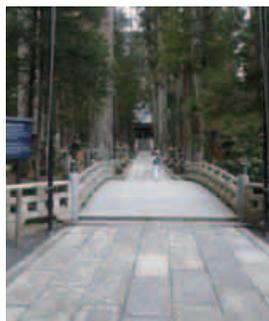


第88番・大窪寺

一町、約一〇九mごとに建つ町石に導かれて登る。杉並木の美しい六本杉、高野山の守り神、丹生都比売神社、鳥居が二つ並ぶ「二つ鳥居」また、お大師さまが袈裟を掛けられた石、押し上げた石、悟りを開かれた鏡石の霊跡、大門直下の急登にあえぐと高野山奥ノ院にはお助け地藏より女人道(にょにんみち)を歩く。高野山の周囲を取り囲む女人道から眺める風景は一味違う。



高野山、大門



高野山、奥ノ院

奥ノ院を参拝し第十二回・満足行を終了す。平成二十五年六月より二年間で六回、五十三日、一二九〇kmを歩き無魔無事に成満致しました。多数の方々より応援、お世話になりました。ここに厚く御礼を申し上げます。

修行日数 七日間  
歩行距離 一五〇・八km

南無大師遍照金剛

「別格二十番・大瀧寺に参拝して」



愛知県 秋田 誠二

二月二十二日、前日に引き続き、夏子ダムから歩き始めました。二月としては暖かく霧雨の煙る中、舗装道を上り始めました。霧が私をやさしく包んでくれます。大瀧寺への遍路道を登ると所々に残雪が見られます。そして大瀧寺の門前に達したとき、眼下に雲海が広がっていました。赤い屋根の大瀧寺の本堂が私たちをやさしく迎えてくれました。

私は満足行パート5からの参加で今回が二回目の巡拝ですが、別格の満願寺で、しかも昨日お参りした大瀧寺の奥の院、四国八十八ヶ所総奥の院である大瀧寺にこうして座して経を唱えられる事が光栄でした。「もし、車で大瀧寺に来ていたら、この感激は味わえなかったのでは」と思いました。人は「苦勞して歩いている」と言うかもしれませんが、苦勞は当たり前で、当たり前前の積み重ねが時に「喜び」に変わり、「感謝の気持ち」を持てるのでは」と思いました。大瀧寺の高みに上らせて頂き、感じたことです。

合掌

第12回満足行成満者

宮城県 伊藤とよ子  
宮城県 畠山さち子  
大阪府 橋 美千子  
岡山県 中山 素身  
愛媛県 橋本 美子

第12回満足行、全コース  
修行日数 54日間  
歩行距離 1,290km

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

歩く遍路 第十二回、パート(1)

満足行巡拝

平成二十七年六月十七日より  
平成二十七年八月二十五日

去年は、お大師さまが四国霊場を開創されて千二百年、本年は高野山を開創されて千二百年の大変意義のある年である。そんな有難い年、第十三回目の満足行を開始する。

十里十ヶ寺の参拝は忙しい

六月十七日、午前五時、第一番・霊山寺から参拝を始める。初日の参加者は十名、天候は幸い曇り、近くの第二番・極楽寺、第三番・金泉寺と足早に打つ、第四番・大日寺を参拝した頃に天気は回復、汗が吹き出す。五百羅漢堂から第五番・地藏寺、境内には樹齢八百年の大銀杏がそびえ立つ。



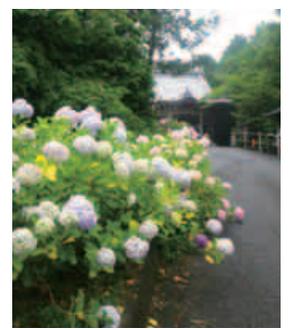
第3番・金泉寺の山門

義経が戦勝祈願した大山寺

地藏寺から別格霊場第一番・大山寺、約二時間の山登り、山門までの長い石段が疲れを呼ぶ、初日は第六番・安楽寺に宿泊する。梅雨の季節、二日目の第七番・十楽寺は大雨。

アジサイが雨に映える熊谷寺

第八番・熊谷寺を参拝し、御本尊、第九番・法輪寺を参拝、第十番・切播寺、厄坂



第8番・熊谷寺のあじさい

の階段にあえぐ。吉野川の潜水橋を渡り第十一番・藤井寺である。

感動の焼山寺越え

朝五時、藤井寺本堂横より登る、第十二番・焼山寺への今に残る大師道。焼山寺まで十二kmお大師さまが休まれた長戸庵、柳水庵、いつも感動させられる一本杉のお大師さんと非常に印象に残るへんろ道、標高七〇〇mの焼山寺は一面のガスで幻想的であった。



第12番・焼山寺参道

山門が印象に残る童学寺

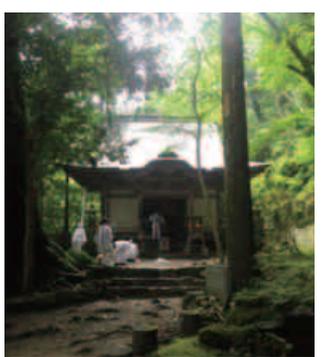
焼山寺麓の鍋岩より玉ヶ峠に登り、林道を本名に下り別格第一番・童学寺を参拝、第十五番・国分寺を参拝、以前に焼失した大師堂が



第15番・国分寺大師堂

幻想、星の岩屋

番外、星の岩屋はいつも感動する、別格第三番・慈眼寺は標高四五〇m、ここは穴禅定修行で有名である。今回は団体修行者が多く修行することが出来なかった。



別格第3番・慈眼寺本堂

鶴林寺、太龍寺には史跡のへんろ道

第二十番・鶴林寺にはかづら棚の勝浦町棚野より登る、鶴林寺より一気に那賀川に下り、第二十一番・太龍寺、捨身ヶ嶽のお大師さまを参拝する。竹やぶの遍路道を歩き第二十二番・平等寺を参拝、美波町由岐に出る。



第22番・平等寺への道



第22番・平等寺

海の匂い、景色にホッとします

俳句の小径を楽しみ、厄除けで有名な第二十三番・薬王寺を参拝して鯖大師本坊、パート(1)では鯖大師坊で打ち止めとする。

昔から阿波の走り遍路と言うが、まさにその通り、非常に忙しい巡拝であった。天候は二日ごとに雨ではあったが、幾分涼しく巡拝できました。

同行者 十三名  
(途中参加者も含む)  
歩行日数 九日間  
歩行距離 二二二km

南無大師遍照金剛

「二本杉のお大師さま」



広島県 高野仁美



一本杉のお大師さん

第十一番・藤井寺から、第十二番・焼山寺へは「遍路ころがし」とも呼ばれる厳しい道程を辿ります。小雨の中「気をつけて!」「休みましょう!」と声をかけ合い、励まし合いながら登ると、一本杉のお大師さまが光に包まれたお姿で、待ち受けて下さりました。「無事に辿り着いたね。」と、微笑みかけて下さるようで、今までの皆さんの言葉一つ一つが、お大師さまの励ましかったと胸が熱くなりました。巡拝中のご好意やお接待を有難く受け「心を洗い・心を磨く」満足行は喜びや感動も一入でした。

ブログ「鯖大師本坊 歩き遍路・沙門明善」  
\*満足行修行の道中日記や写真、その他行事には更新しています、良かったらご覧下さい。

百八煩惱消滅の道  
歩くお遍路  
満足行代参巡拝



百八ヶ寺、百八回のご祈願  
あなたに代わり、歩いて巡拝

平成二十七年十一月十五日(日)～  
平成二十七年十一月二十二日(日)  
八日間

第十三回、満足行パート2は、第二十四番・最御崎寺より第三十六番・青龍寺まで歩いて巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方  
歩いてお参りしたくても出来ない方

あなたに代わり歩き、お願い事を百八ヶ寺の御宝前にてお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)  
**二千元以上**

※代参ご祈願ご希望の方は十一月十日までにお申し出下さい。代参巡拝後ご祈願札をお授け致します。

人生即遍路  
**満足行**  
歩くお遍路  
パート2

第13回

**第24番・最御崎寺～第36番・青龍寺まで**

修行の道場・土佐霊場の空・海・山の大自然を晩秋に歩き、お大師さまの同行二人のご誓願を身を以て修行する。

参加料  
**10,000円**  
傷害保険料、渉外費に充当

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担



日時 平成27年11月15日(日)～平成27年11月22日(日) 8日間

集合 平成27年11月14日(土) 午後5時 鯖大師本坊 へんろ館

巡路 第24番・最御崎寺～第36番・青龍寺まで (歩行距離 204km)

※参加申し込み〆切日 平成27年10月19日

参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

過去帳記入  
**一霊 拾万円**

位牌預かり  
**一基 参拾万円**

永代供養・「位牌預かり」「過去帳記入」  
お祀り出来ない方、お祀りする人がいない方




お位牌預かり、過去帳記入の方、毎日、お仏飯お茶をお供えして、各月命日には読み上げ供養を致します。

十一月三日鯖大師御法礼大祭  
大柴燈護摩壇木奉納のお願い



檀木奉納  
一本(二願)  
**壹万円**

あなたのお願いを、檀木に浄写して大柴燈護摩修行にて、ご祈念お焚き上げ致します。

※数に限りがありますので、三十本お集まり次第、〆切らせて頂きます。ご了承の程。

※お電話にて承ります。お申し出下さい。

平成二十八年度

壹ヶ年間「月命日」献灯(壹万円)

無明を照らす、光明  
ご先祖さまと現世と結ぶ架け橋  
献灯供養



仏教では苦しみの根源、迷いや煩惱を「無明・むみょう」と言います。炎は不浄を燃やし魔を除き浄化して清める働きをします。光明は人が煩惱の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。

護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm 重さ8kg



納奉主願 料奉主願  
也圓萬拾参 金願祈  
ご祈願 願主奉納料  
金 参拾萬圓也

平成二十六年十二月一日より平成二十七年六月三十日までにお花代、お供えとして奉納された方です。ここに厚くお礼を申し上げます。

(敬称略)



不動様のお力に  
おすがりして  
あまねく悪を退け  
本当の幸福という名の  
功徳をつかんで  
頂きたいのです

大不動明王  
護摩堂奉安祈願

大不動明王  
願主ご芳名

中国・北京市

張桂菊

賀師親友

不動明王  
ご浄財ご芳名(二万円以上)

広島県

小島美恵子

香川県

浮田トシ子

参与会入会のご案内

参与会とは、正式には高野山真言宗参与会といひ、根本山金剛寺住持・高野山真言宗管長さまを総裁と仰ぎ、弘法大師さまの教えを守りひろめ、お大師さまの衆生救済のご誓願におこたえすることを目的とする信仰団体です。

同行  
二人



高野山真言宗参与会事務局

参与会員になったら：

参与会入会

年間費(一万円)

※入会ご希望の方は、鯖大師へお電話にてお申し出下さい。資料をお送り致します。

- 会員の方は皈依・参り物故者慰霊碑に祀り水く供養を捧げます
- 高野山真言宗管長・参り会総裁さまから、委嘱状をお届けし、参り袋と参りバッチを授けられます
- 参り袋をつけて高野山にご参り下されば、諸堂、霊宝館の内拝は無料です。また、金剛堂を参拝されたとき、記念品として「線香」を贈呈いたします
- 月一回発行の「高野山教報」をお届けし、高野山真言宗が発行するパンフレットなど印刷物をその都度お届けします

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゆうにち)とし前後の三日を合わせた七日間をいいます。

この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

- 【布施】他人へ施しすること
- 【忍辱】不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禅定】心を安定させること
- 【持戒】戒を守り、反省すること
- 【精進】精進努力すること
- 【智慧】真実をみる智慧を働かせる

彼岸の入りから明けまで七日間

一霊・三千元

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を實踐し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでのご供養下さい。

# 白衣観世音菩薩願主のお勧め

大慈大悲の心で、私たちを苦しみから救い導く仏、観音さまにお願いを!!

娑婆世界(現世界)には、さまざまなきしみ・悲しみがいっぱいあります。観音さまは、この苦しみを悲しみから救うため、極楽浄土の世界より娑婆世界に降りてきます。

そして、三十三通りの姿に変わり、私たち一人一人の事情に応じて、その姿を変え救いの手を差し延べて下さいます。観音さまの手の長いのは、やさしい手を差し延べてくれるという慈悲の形の表れです。

観音さまにお願い事のある方、永代のご供養を望まれる方は、願主になられ、ご加護を受けられますようお願い致します。



※観音さま奉安ご希望の方は、お申し出下さい。申込用紙をお送り致します。

白衣観世音願主料  
**貳万円**  
(1体1願)  
◎お願い事、お名前を刻印し御祈念後、西国三十三観音お砂踏み霊場に奉安します。

## 白衣観音奉納願主ご芳名

千葉県	秋谷和夫	京都府	米田昌裕	徳島県	白野いづみ	
秋谷光枝	大阪府	竹中さつき	大分県	岡本小夜子	福岡県	中島健翔
宮崎博	竹中さつき	二体	松尾晴美	山口県	伊藤栄治	
宮崎篤	島根県	山塚豊子	長峰健一	兵庫県	遠周照峯	
清水みどり	岡山県	山塚豊子	渡辺新一	兵庫県	西田悦子	
匿名	岡山県	山塚豊子	玉木クニエ	兵庫県	筒井絹子	
石田圭祐	岡山県	山塚豊子	石田圭祐	兵庫県	福原照男	
石田ひとみ	岡山県	山塚豊子	石田ひとみ	兵庫県	福原照男	

山口県	伊藤栄治	山口県	伊藤栄治	山口県	坂本司郎
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小池芳文
伊藤栄治	山口県	伊藤栄治	伊藤栄治	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子
伊藤信定	山口県	伊藤信定	伊藤信定	山口県	小志保子

## 蓮華台奉納願主ご芳名

第五十九番 国分寺	兵庫県	遠周照峯	山口県	伊藤栄治
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定
第六十一番 宝寿寺	兵庫県	西田悦子	山口県	伊藤信定

## 八十八ヶ所 蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。

今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされており、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊いおかげの心をご供養するお気持ちで蓮華台奉納のお申し出をお願い致します。奉納供養は一口壹万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。

蓮華台奉納のお申し出をしていただける方は、お願い事、施主名をお知らせ下さい。

※申し込み用紙をお送り致します。

**一口壹万円**

※一人何口でもお受けいたします。

(一ヶ寺30名様完成品) 奉納者名は不動洞にて永代にご供養致します。

奉納数は一〇八ヶ寺で終了とさせていただきます。

## お盆供養のご案内 八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源はご先祖さまです。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。

命の源、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。



# 般若心経塔「浄財」 ご芳名 (一万元以上)

岡山県 中山素身	東京都 (代表) 平田澄子	長野県 白田悦子	愛知県 小久保勝巳	(代表) 葛山定枝	大阪府 森昭子	(代表) 野村妙観	兵庫県 松浦幸子	岡山県 天野恒道	徳島県 松島昌子	島根県 南秀子	徳島県 徳善榮子	愛媛県 近藤久子	高知県 江淵亀代子	佐賀県 田中康夫	岡山県 岡山野	徳島県 徳島野	松島昌子	島根県 南秀子	徳島県 徳善榮子	愛媛県 近藤久子	高知県 江淵亀代子	佐賀県 田中康夫
-------------	---------------------	-------------	--------------	--------------	------------	--------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	--------------	-------------	------------	------------	------	------------	-------------	-------------	--------------	-------------

## 般若心経 多宝塔 お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。皆様の御写経奉納をお願いします。

お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙  
(三十枚つづり)

一冊 千円  
荷具送料 三百円

お写経奉納料  
一卷(一枚)千円

奉納お写経 107,438巻

上記の巻数は、平成2年12月1日より平成27年6月30日までの累計です。

# 「壹千文字」ご奉納 願主ご芳名

ご奉納文字数 現在  
二百三十二  
文字目



北海道 吉鷹美枝	愛媛県 稲井準市	静岡県 竹田寛三郎	大阪府 山本進	大阪府 土岐信子	愛媛県 真木ミヤ
-------------	-------------	--------------	------------	-------------	-------------

平成二十六年十二月一日より平成二十七年六月三十日までに奉納祈願された方です。  
(敬称略)

# 鯖大師・多宝塔 壹萬羽鶴

ご奉納 一羽 千円



鯖大師では皆様の願い、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に、願いを込めて折って戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を發願致しました。皆様のお願い事を般若心経・多宝塔の観音様にお伝えし、飛天さんに天空界へと届けて戴きます。「お願い事、お名前を書き、一折、一折に想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」



多宝塔内、奉安

奉納数  
一、五一六羽

平成25年11月3日より平成27年6月30日までの累計です。

# 般若心経 折り紙

## 願掛け千羽鶴

千枚・千八百円



ご病氣の方の快復を願ひ、子宝、出産、試験等の諸願成就の為、亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、様々な願いを鶴に込めて、お祈り下さい。



火渡り修行



大般若経法要



奉祝大もち投げ



大柴燈護摩修行

# ご法礼大祭

十一月三日(火)

文化の日

## 行事

水琴千体地藏尊御供養

(駐車場) 午前九時

家内安全大般若経法要

(本堂) 午前十時

厄除開運大柴燈護摩

(駐車場) 午後一時

七難即滅火渡り修行

(駐車場) 午後二時

奉祝大もち投げ

(駐車場) 午後三時

※うどんお接待

本年もご法礼大祭を盛大にご修行します。ご参加ご拝顔を楽しみにしております。

# 飛天曼荼羅

## 結縁法要

十一月二日(月)

「大祭、前夜祭」

午後七時より

飛天の研究、第一人者であり画家・吉永邦治師が心魂を注ぎ三年の月日をかけ完成させた、飛天のご開帳結縁法要を執り行います。法要後には塔内に入り、飛天さまと結縁を結んで戴きます。どうか、この機会に飛天曼荼羅空間をご体感下さい。

※宿泊予約は十月二十日までに申し出下さい。



大切な人を迎える

— お盆・お彼岸 —

特別な日に

特別な香りを

良いお香を焚き、亡くなられた方にお供えするのは、お盆やお彼岸で帰られたご先祖さまへの最高のおもてなしです。

特別な日には、故人を敬い良質なお香を焚き大切な方をお出迎え下さい。



合掌

蓮華の香り

# 福の花



- 進物 三、五〇〇円
- 徳用 一、七〇〇円
- 小箱 八五〇円

のし、宛て名お書きします。

※初盆のお供え・お返し、満中陰の返礼、法事の粗供養、お中元等で、多数ご利用の方は宛て名書きした、のしを同封致します。ご希望の方はご注文の際にお申し出下さい。